

環境負荷の把握と環境汚染の防止

オカムラグループは、環境負荷低減に向けた効果的な取り組みとして、製品製造時や製品の原材料に使用される化学物質が環境や健康に影響を及ぼす可能性を認識し、化学物質の管理の強化に努めるとともに、汚染防止に向け開発・生産部門などの関連設備等の適正な管理を徹底しています。(データ集 [▶P.155](#))

化学物質排出・移動量の削減

オカムラグループでは、製造段階における塗装工程や接着工程など、事業活動に伴いさまざまな化学物質を使用しており、PRTR制度*1対象物質の排出・移動量に関して目標値を設定し取り組んでおりますが、法改正により対象物質が増加したため、2023年度の排出・移動量は原単位前年度比39.8%増加しました。塗装前処理剤や接着剤をPRTR制度の届出対象物質*2を含まないタイプに切り替えるなどの対応により、着実な削減を図っています。

なお、2023年度はオカムラの事業活動において環境汚染に関わる法令違反や事故、訴訟はありませんでした。

*1 PRTR制度：「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」の中で、事業者が対象化学物質の移動量・排出量を把握し、国に届け出ることを義務づけた法律

*2 届出対象物質：取扱量が1,000kg/年以上の物質

製品に含まれる化学物質の管理

オカムラグループでは、表面処理剤、接着剤、樹脂、化粧品などに化学物質を使用しています。化学物質を含有している材料に関しては、安全データシート(Safety Data Sheet: SDS)をメーカーより入手して各生産事業所で一元管理し、危険有害性や環境への影響の評価、必要に応じたリスク低減措置を行っています。また、製品の開発・設計時に製品アセスメ

PRTR制度届出物質の排出量(2023年度)

※ 取扱量が1,000kg/年以上の物質

管理番号	種別	政令番号	CAS番号	物質名	取扱量(kg)	行政に届出する量(kg)			
						排出量		移動量	
						大気への排出	公共水域への排出	下水道への移動	当事業所の外への移動(廃棄物)
53	1種	073	100-41-4	エチルベンゼン	20,082.7	18,567.9	0.0	0.0	1,304.6
80	1種	103	1330-20-7	キシレン	35,912.4	31,815.2	0.0	0.0	1,980.9
186	1種	213	75-09-2	ジクロロメタン	2,898.8	2,898.8	0.0	0.0	0.0
298	1種	345	26471-62-5	トリレンジイソシアネート	11,442.0	0.0	0.0	0.0	139.0
300	1種	347	108-88-3	トルエン	32,636.2	31,005.2	0.0	0.0	1,612.7
302	1種	352	91-20-3	ナフタレン	2,345.7	2,040.6	0.0	0.0	184.2
392	1種	436	110-54-3	ヘキサン	2,280.0	1,809.8	0.0	0.0	470.2
448	1種	498	101-68-8	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	74,812.3	148.1	0.0	0.0	134.5
585	1種	052	9016-87-9	アルファ-(イソシアナトベンジル)-オメガ-(イソシアナトフェニル)ポリ[(イソシアナトフェニレン)メチレン]	83,912.2	0.2	0.0	0.0	41.0
594	1種	077	111-76-2	エチレンジグリコールモノブチルエーテル	19,817.8	3,995.0	0.0	0.0	8,579.9
627	1種	170	112-34-5	ジエチレンジグリコールモノブチルエーテル	16,505.2	1,714.3	0.0	99.0	8,168.7
683	1種	320	122-20-3	トリイソプロパノールアミン	4,070.8	0.0	0.0	49.0	3.0
691	1種	342	95-63-6 108-67-8 526-73-8 25551-13-7	トリメチルベンゼン	22,415.0	20,766.3	0.0	0.0	1,391.4
731	1種	442	142-82-5	ヘプタン	3,330.5	2,570.8	0.0	0.0	759.7
737	1種	472	108-10-1	メチルイソブチルケトン	1,054.6	435.9	0.0	0.0	36.6
合計					333,516.4	117,768.3	0.0	148.0	24,806.4

ントを実施し、規制の対象となる化学物質が使用されていないかを確認し、使用されている場合にはより環境負荷の少ない材料へ変更しています。

有害物質の適正管理による汚染防止

オカムラでは、ポリ塩化ビフェニル(PCB)含有機器類として蛍光灯用安定器を保有していましたが、2023年度指定処理施設に搬出し、適正に処理が完了しました。これによりPCB廃棄物の保管はなくなりました。